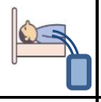
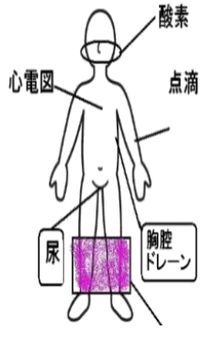
胸腔ドレナージパス

患者さんには治療計画に基づいた医療を行います。　　病棟　　病室　　氏名：　　様

※気胸で入院しても手術を行う場合と、行わない場合があります。　　説明日：

項目	月　日（　）	月　日（　）：手術当日		月　日（　）	月　日()～ 月　日()	月　日()～ 月　日()	月　日（　）
イベント	入院日～手術前日	術前	術後	術後1日目	術後2～3日目:ドレーン抜去まで	術後4～5日目	術後6日目:退院日
目標	・胸に入っている管に異常がない ・呼吸が安定している ・鎮痛処置で疼痛が緩和する	・治療について理解でき、手術の準備ができる	・術後の合併症(呼吸、循環、皮膚)がない ・ドレーンの異常がない			・創部に問題がない ・痛みのコントロールができる ・退院後の注意点がわかる	
検査 処置	＊胸に管(ドレーン)が入ります ・ドレーン挿入後、確認のレントゲン撮影 ・採血 ・身長、体重測定 	・弾性ストッキングを履き、手術着に着替えます	・痛み止めのチューブが背中側に入っています ・翌日まで血栓予防の機械を足につけます	・採血、胸部レントゲン ・創部の消毒 ・朝、尿の管を抜きます 	・創部の状態に応じて処置をします ・胸部レントゲン ・採血(術後3日目) ＊検査を行う時は前日にお知らせします		・傷に貼っているフィルムを剥がします ・レントゲンの結果で肺の膨らみが前日と変わらなければ退院となります
点滴		・手術開始時間により、術前から点滴を開始することがあります	・点滴があります 				
内服薬	・薬剤師が、持参薬を確認します ・通常のお薬を服用してください 	・指示された薬のみ服用してください	・服用する薬はありません	・内服薬を開始します(鎮痛薬、痰を出しやすくする薬)	・指示された薬を服用してください ・痛みがある場合は、ナースコールでお知らせください。頓服で痛み止めをお渡しします		・指示された薬を服用してください
食事	・食事が出ます 	・飲食可能時間は、医師の指示に従ってください	・禁食です。飲水は医師の指示に従ってください 	・朝食から開始します 		・食事が出ます 	
清潔	・胸の管が入っている間は、下半身のみシャワー浴可です	・シャワー浴不可です ・洗顔、歯磨きをしてください 		・体を拭き、着替えます 		・胸の管が入っている間は、下半身のみシャワー浴可です ・管が抜けた1日後から、全身のシャワー浴可です 	
活動 安静度	・胸に管が入っていますが移動はできます。看護師にお知らせください	・手術開始時間に合わせて看護師と一緒に手術室へ移動します	・ベッド上安静です 	・朝から歩行できます。術後の初回歩行は、看護師と一緒に行います 			・次の外来受診や内服薬について、看護師、薬剤師が説明します ・外来受診日の予約票をお渡しします
排泄			・尿の管が入っています	・尿の管が抜けたら、トイレへ行けます			**《退院後の注意点》** ・痛みが急激に強くなったとき、息苦しさ、発熱、傷口に異常があるときは、次の外来日前でも病院に連絡をして受診をしましょう ・次の外来日までに旅行や激しい運動を考えている方は、医師に相談してください ・禁煙は、退院後も続けましょう。飲酒も次の外来日までは控えてください ・風邪予防のために、手洗い、うがいを心がけてください ・内服薬は用量、用法を守りましょう ・次回外来日までは、入浴はせずシャワー浴としてください 
説明	＜看護師より＞ ・安全確認のため、患者識別バンドを装着します ・入院生活についての説明をします ・入院までの生活状況をお聞きします ・胸の管の取り扱いについて説明します ・痛みが強い時は鎮痛剤を使用しますので、ナースコールでお知らせください 【手術前日】 ・麻酔科医師が診察と麻酔説明をします。手術開始時間が決定します ・担当医師より、手術説明があります ＜手術後、必要な物品＞ ・コップ、ストロー又は吸い飲みをご準備してください 		・痛い時には、痛み止めを使用しますので、ナースコールでお知らせください 	・早期回復のため、歩くようにしましょう ・肺炎を予防するために痰をたくさん出しましょう  **痛みがある場合や呼吸が苦しい場合は、すぐにナースコールでお知らせください** **痛みは手術後2日目位をピークに徐々に軽減していきます。管が抜けるとかなり楽になりますが、手術時、肋骨周囲の神経に触れる影響で脇腹にピリピリした感じが続く場合があります。湿布をしたり暖めたりすることで緩和できますが、症状が続くこともあります。ご理解ください。**	・レントゲンで肺の膨らみが十分と医師が判断したら、鉗子で胸の管を止めます ・翌日のレントゲンで肺の縮みがないと確認されれば、胸の管を抜きます 	

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。　経過はその都度、個別にご説明します。

東京女子医科大学附属足立医療センター　2026年5月第4版